斗争ニュース

No.6

坂井工場争ギ団
向島区寺島町
五ノ五五 関東工联
本部内
1935.5.9

第一回の交渉戦に 争議団の態度極めて強硬
坂井工場主考慮の上回答を約す

五月八日争ギ団代表十一名は南君と共に坂井工場主に面接を求めたるに坂井夫婦は直ちに之れに応じた。然し昨日の坂井工場乱弾演説会によって町民、区民に大センセーションを捲き起し全工場非難の声が巷に充つるといふ状態は如何に力強い観念を与へたか?

然してかれらの信用は如何に破カイされ行くか?

附近工場主及町民が一日も早くこのストライキを解決すべく、而して町内の平和回復の要求を以て迫りつゝあるか?

又工場法違反、健康保険法違反、信書の破棄、暴行傷害の諸事実は如何に彼らを恐怖せしめつゝあるか?

彼らの態度は期せずして敗北せざるを得ない筈である。

争ギ団代表は既に提出せし要求条目の即時回答を迫った。狼狽、混迷、不レイを以て聞えた彼坂井も遂に頑固的態度を持するに至り即答をさけ暫時考慮の上回答する事を約したり。

東京市従業員組合から 激励のメッセージ来る

メッセージの内容は次の如くである

横暴極まりなき資本家の攻撃に抗して、断乎ストライキを以て日夜果敢なる斗争を戦ひ続ける坂井発動機製作所争議団の兄弟諸君!

今や押し迫る資本主義の一般的危機の増大は、我々労働者階級の生活を餓死的ドン底へ叩き込まんとしつゝある!

見よ!昨秋起った市電の大ストライキを!

更改給、賃銀半減、これが此の争ギの原因だ、斯くの如く、彼ら資本家階級は、今や億万労働者の最后の血の一滴までも搾りつくさんとしてゐるのだ、

然しながら兄弟諸君!我々労働者には団結の偉大なる力がある。叩きのめされ、突き倒され、飽くなき搾取を強要されつゝも、無権力の我々労働者は個人の力ではどうにもならぬ。だが諸君!我々労働者のみが持つ団結の威力こそ我々の唯一の武器であり、又絶体的な我々の力なのだ、諸君はこの団結の威力を信じ、最后の勝利の日まで断乎死を賭して戦へ!

諸君の背后には全日本の、否全世界の労働者の居ることを記憶せよ!

諸君の勝利を確信してこの挨拶を送る

一九三五、五、七

東京市従業員組合

坂井発動機製作所争議団 御中

東交新谷支部 坂井争議応援に起つ

坂井争ギは刻々と激化し今や斗争は漸く白熱化さんとするに至り是工場坂井を葬れの叫びは巷に漲りつゝある。この時東交

大通労働組合の新谷支部は各支部に先じて争ギ基金募集の活動に着手し「坂井争ギ団の兄弟を勝たせよ」の叫びの下に応援斗争に奮起してゐる。今九日争ギ団代表は全支部に至り支持応援を求むる挨拶を為し且つ謝意を表したのである

二百五十円の契約が 僅か一円五十銭で叩き出す
切々胸に迫る一徒弟の手紙

二百五十円の契約であるにかかはらず蓄膿症のため欠勤して治療してゐるのを怠けてゐるといふ因縁をつけて僅か電車賃一円五十銭を呉へて御里千葉に逐ひ返したといふ事実、この残忍なる処置を受けた平井信太郎君(十九才)といふ一徒弟さんから五月九日争ギ団本部に一切の事情を訴へた手紙が来た。次に掲げるのはその手紙の原文のまゝである。

『坂井発動機製作所!!』その名を聞く毎に胸に来る何者かが思はず高鳴り、自分でも分らなくなる位燃え立って止まない。それ程私はその名を憎んで居ります。

私の入所したのは昭和八年七月一日でした。その日から直ぐ其の場で裸体にされ仕事着も渡されず自分で持参せし服にて働かせられた。それに工場初めの私は直ぐ夜業をさせられた。夜業を終れば八時、入所したばかりの小僧たる私は一番後で湯に入ってそれから寝ると十一時半になる、そして朝は五時に起される、真夏だから寝気は昼間中襲ひかかり怪我をしなかったのは不思議な位、これ程はげしい労働で夜業まで続らになるか?、月五十銭です。病気になれば他人の健康保険証を無理に使はせられ、滋養物一つ与へられず生飯のパリパリと言ふ奴だ、丈夫な時は働らける丈けコキ使ひ病になれば勝手にしろと言はぬばかりだ人情、慈愛、正義などは夢にも知らぬ坂井工場主だ!、

私はある日夜業にて徹夜した事がある、その時の金は幾らかと諸君は一円位もらったらうと思ふだらうがその三分の一に足らない僅か三十銭だ。食米は何処の米だか知らぬが南京米の様な米、くさい香の物で便所のそばの食堂、蝿は来る、まるで豚だ!犬か猫に生れて来た方が余程ました、日曜とて半日位しか遊べず私共は日曜は一番楽しみた、その楽しき一日の慰安日を働かせる様な醜な、こんな工場主があるだらうか。九年十月以来私は蓄膿症といふ病気になった、手術后も頭が痛くて仕事も思ふ様に出来ないサア大変だ!、何とか追ひ出さうといふことで一日休んだのを怠けたものとして表面だけは体裁よく田舎へ養生に行って来いと電車賃一円五十銭出した、一円五十銭で養生后帰って来られやうか、郷里の千葉の田舎までは行きだけの電車賃です。田舎へ帰って養生費はどうなるでせう。こんな病気に誰がさせたでせうか。病気になったら帰へし治ったら呼び戻して働かせる。坂井のお金さん早く子供を持ってその愛はどんなものだか知ってくれと叫びたくなる次才です。中途で出された徒弟はどうか?、貰った着物、服、仕事の合ひ間に丹精して作った道具までも取り上げ丸裸で追ひ出しよそから借着して出なければならなかったではないか。それに製品の農耕用小型発動機は粗悪な原料に速く造らせるから不良品にきまってゐます、それを農民に暴利で売りつけるのです、こんな暴利、暴利な工場主は天に代って罰すべきであると思ふのです、争議団の皆さん!どうか勝って下さい、復讐をしてやって下さい、私は毎日お祈りしてゐます

五月八日午后二時　信太郎より

坂井発動機製作所争ギ団 御中

争議基金寄附芳名

一金 五十銭也　全日映画演劇従業員組合水沼正昭氏